

9月9日は救急の日

黒川消防署管内の平成28年7月末現在での救急出場件数は2,088件となり、前年同時期に比べ83件(約4%)増加し、救急業務開始以来最多ペースでの出動状況となっています。

このため救命への影響が心配されています。

～救急車の適正な利用方法について考えてみましょう～

1. 急に頭痛、胸痛、腹痛が発症した場合や脳梗塞症状(麻痺及び言葉や視覚障害など)が出現した場合には迷うことなく119番通報しましょう。
2. 症状が軽いと思った場合などは119番通報する前に、救急車が必要か、自家用車やタクシーなどを利用できないかもう一度考えてみましょう。
3. 普段から、医療機関(夜間でも診察可能)への交通手段や場所などを調べておきましょう。
4. 参考問い合わせ先

●小児の場合 『宮城県子ども夜間安心コール』 ☎#8000又は212-9390

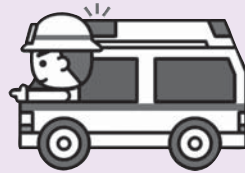
夜間にお子様が必要な病気やけがになった場合に、看護師が電話相談に応じます。

●診察案内

『宮城県休日・夜間診療所案内』 ☎216-9970

自動音声で受診可能な医療機関の情報を提供しています。

提供情報は、診察科目、医療機関名、住所、電話番号、診察時間の5項目です。



ドクターヘリを運航します

県では、救急医療体制を充実させるため、ドクターヘリを10月28日(金)から運航します。

○ドクターヘリとは

ドクターヘリは、医療機器などが装備された救急医療用のヘリコプターで、医師や看護師などの医療スタッフが搭乗します。ヘリコプターは小型であるため、公共施設の駐車場や学校のグラウンドなどを臨時の離着陸場として使用し、救急現場付近に着陸することができます。また、ドクターヘリに搭乗した医療スタッフが、早い段階から治療を始めることができるため、傷病者の救命率向上や、後遺症軽減など効果が期待されています。

ドクターヘリは、県内全域を運航範囲とし、基地病院である仙台医療センター(仙台市宮城野区)と東北大学病院(仙台市青葉区)から交代で出動します。天候などにより安全が確保できないときは、運航ができない場合もありますが、原則として土曜日や日曜日を含め、毎日運航します。

現在、具体的な運航手順の決定や臨時離着陸場の選定など、運航開始に向けた準備を進めています。

○運航にご協力を

ドクターヘリが離着陸する際に、一時的に騒音や強風が発生する場合がありますが、安全な運航に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

◆問い合わせ先 宮城県医療整備課 ☎211-2622



普通救命講習会受講者募集

黒川消防署では、心肺蘇生法をひとりでも多くの方に身につけていただき、救命率の向上を図る目的から、公募による普通救命講習会を次のとおり開催します。

■開催日時 9月28日(水)午後6時30分～9時30分

■会場 黒川消防署 富谷出張所(富谷町富ヶ丘1-20-1)

■講習内容 AEDを用いた普通救命講習(修了証有り)ガイドライン2010に基づく内容で指導

■募集人数 10名以内(先着順)

■申込期限 9月21日(水)午後5時(平日のみの受付となります)

■申込先 黒川消防警防課救急担当 ☎345-6888

大衡工業団地に立地決定

全農物流株式会社と環境協定を締結

農業関連の物流事業などを展開する全農物流株式会社(本社:東京都)が、国道457号沿いの大衡工業団地に東北支社宮城倉庫を立地することになり、7月27日(水)、同社と村による騒音防止対策等に関する環境協定を締結しました。

全農物流株式会社は、宮城県土地開発公社から取得した用地に、県産米の保管や検査、JRコンテナの拠点として、低温倉庫や常温倉庫などを建築する予定で、平成29年9月の稼働を目指しています。

鈴木盛夫社長は「宮城県の中央に位置し交通の要衝である大衡村に進出できたことは大変喜ばしい。地域と一緒に事業展開し、村の発展にも協力したい。」と述べられ、萩原村長は「農工併進を進める本村に農業関係の優良企業に立地決定していただいたことに感謝している。円滑な操業に向け、村でも全面的に協力させてほしい。」と歓迎の意を表しました。



東京で 企業立地セミナー開催

8月3日(水)、県内への企業誘致を目的に、首都圏の企業を対象とした「宮城県企業立地セミナー in Tokyo」が都内のホテルを会場に開催されました。セミナーには176社289名が参加し、第一部では立地企業の講演と県による投資環境説明、第二部では参加した市町村や関係機関がブースを設け、参加者に企業立地の優位性等について説明しました。



▲参加企業に萩原村長が立地環境をPR

秋の交通安全県民総ぐるみ運動

9月21日(水)から30日(金)までの10日間、県下一斉に「秋の交通安全県民総ぐるみ運動」が実施されます。

◇運動の基本

「子どもと高齢者の交通事故防止」

◇運動の重点

・夕暮れ時と夜間の歩行中、自転車乗用中の交通事故防止

・後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

・飲酒運転の根絶

9月30日(金)は

「交通事故ゼロを目指す日」です

これからの季節は夕暮れ時刻と交通量が増加する帰宅時間が重なり、例年、交通事故が多発する傾向にあります。運転者は早めのライト点灯を、歩行者は反射材を身につけるなどお互いに注意し、交通事故防止に努めましょう。

